

2023年8月24日

個人投資家様向け 会社説明会

高松機械工業株式会社
(証券コード：6155)

TAKAMAZ



目次

1

会社概要

2

当社の強み

3

成長戦略

4

株主還元

(参考資料)

説明者紹介



代表取締役社長

たかまつ そういちろう
高松 宗一郎

【主な経歴】

2000年 4月 当社 入社
2008年 4月 自動車部品生産部長
2010年 4月 管理本部総務人事部長
2010年 6月 取締役管理本部総務人事部長
2013年 4月 取締役営業本部海外営業部長
2014年10月 代表取締役副社長
2018年 4月 代表取締役社長

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

会社概要



会社概要

会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）
連結売上高	166億75百万円（2022年度）
正社員数	連結：594名 単体：528名（平均年齢 38歳）
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・第4工場 ・開発センター
営業拠点	国内 9拠点（関東、大阪、名古屋ほか） 海外 7拠点（アメリカ、ドイツ、タイほか）

本社工場

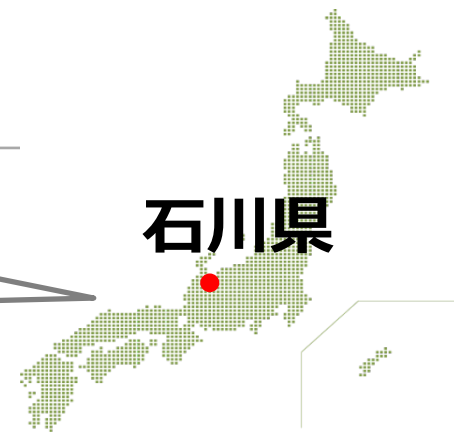


あさひ工場



他 4 生産拠点

石川県



※従業員数は2023年6月末現在です。

会社概要

沿革

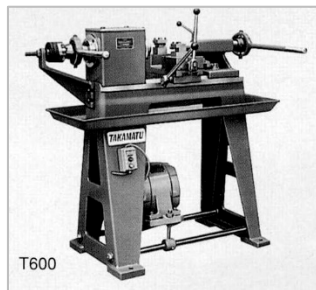
1948

初代社長
高松喜一が個人創業



1960

工作機械分野に進出



1961

高松機械工業株式会社
を設立

1985

現在地に本社工場移転



2001

店頭登録市場に上場

自動車部品分野に進出

2002

I T 関連分野に進出

2006

東証二部に上場



2018

高松宗一郎
社長就任

創業70周年



2022

あさひ工場設立

東証スタンダード
市場に移行

事業内容

工作機械事業
(150億74百万円)

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場

あさひ工場



他 第2工場、第4工場

IT関連製造
装置事業
(13億4百万円)

事業内容

液晶基板や半導体
などに関する
製造装置の製造

生産拠点

開発センター



自動車部品
加工事業
(2億96百万円)

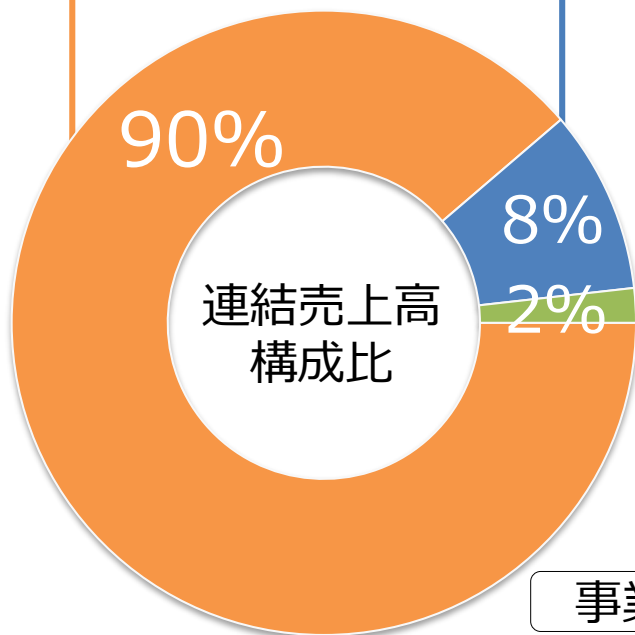
事業内容

自社製旋盤による
自動車部品の加工



生産拠点

第3工場



連結売上高
構成比

※売上高及び売上高構成比は2022年度の数値です。

業種別受注先の状況（旋盤・改造機のみ）

金属製品

7%

近年の主な納入先

- ・三木プーリー
- ・SMC

鉄鋼・非鉄金属

電気機械

精密機械

自動車関係

46%

近年の主な納入先

- ・トヨタ自動車
- ・SUBARU
- ・本田技研工業
- ・マツダ
- ・デンソー

機械

10%

近年の主な納入先

- ・川崎重工業
- ・クボタ

商社・代理店・ 官公需・学校

14%

近年の主な納入先

- ・ユアサ商事
- ・山善

その他製造業

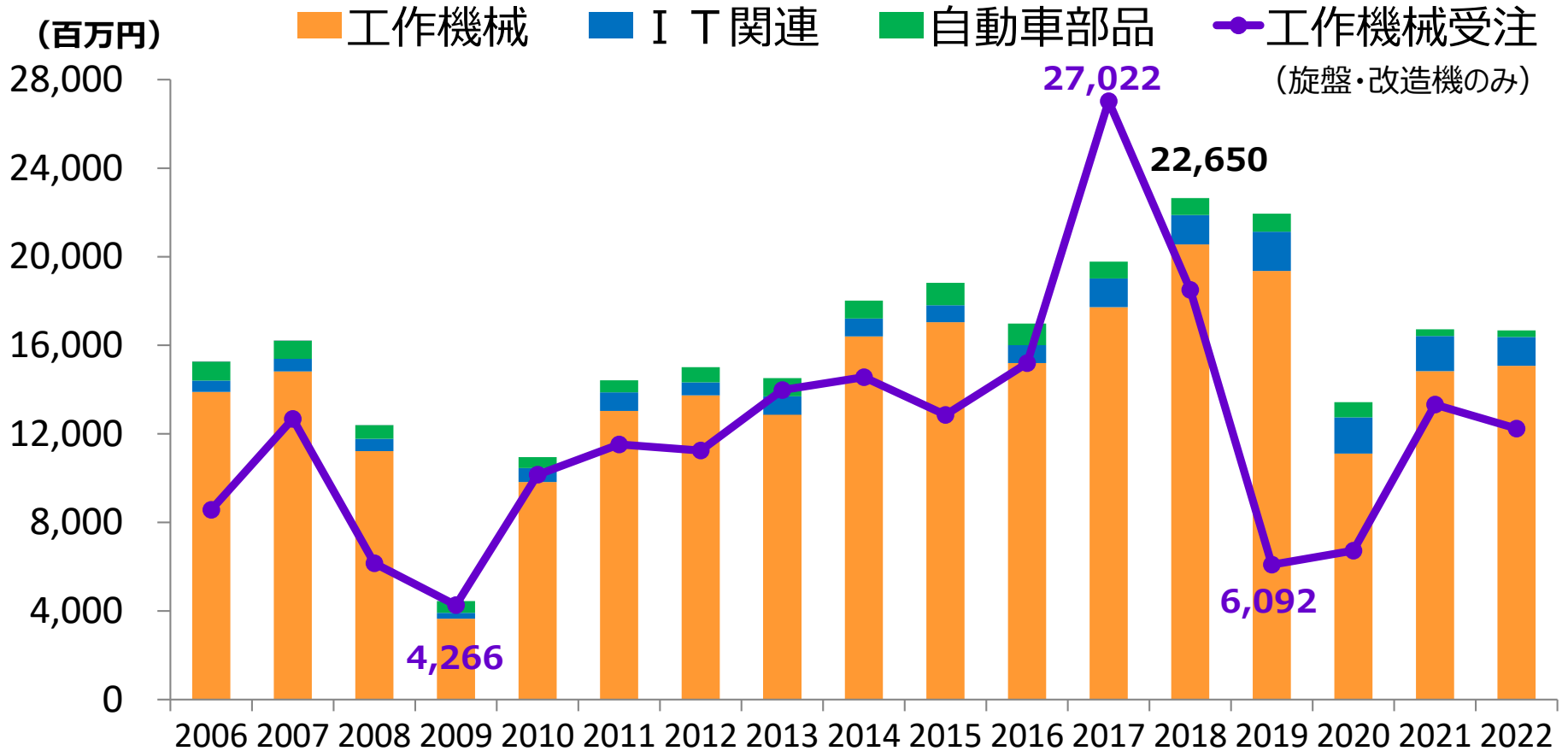
16%

近年の主な納入先

- ・マックス
- ・象印マホービングループ

2022年度
構成比

■ 連結売上高・工作機械受注高の推移



- 2009年度：リーマンショック、2019年度：米中貿易摩擦、新型コロナ
- 2017年度は**過去最高受注高**、2018年度は**過去最高売上高**を達成
- 2022年度にあさひ工場が稼働開始し、生産能力が拡大

成長の基盤となるあさひ工場

フラッグシップ・ファクトリー（旗艦工場）である
「あさひ工場」が当社の更なる成長を支えます

本社工場とともに工作機械事業の生産を担う



- ✓ 生産能力 1.5 倍へ
- ✓ 人と環境への優しさを追求した環境
- ✓ サステナビリティを意識した最新鋭設備



あさひ工場概要	
住所	石川県白山市旭丘4丁目13番地
人員	約110名（主に営業部門、製造部門）

■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点： **9** か所

関東、大阪、名古屋、
浜松、厚木、東北、
北陸、信越、広島

国内グループ会社： **2** 社

- タカマツエマグ
- FTJ

海外グループ会社： **9** 社

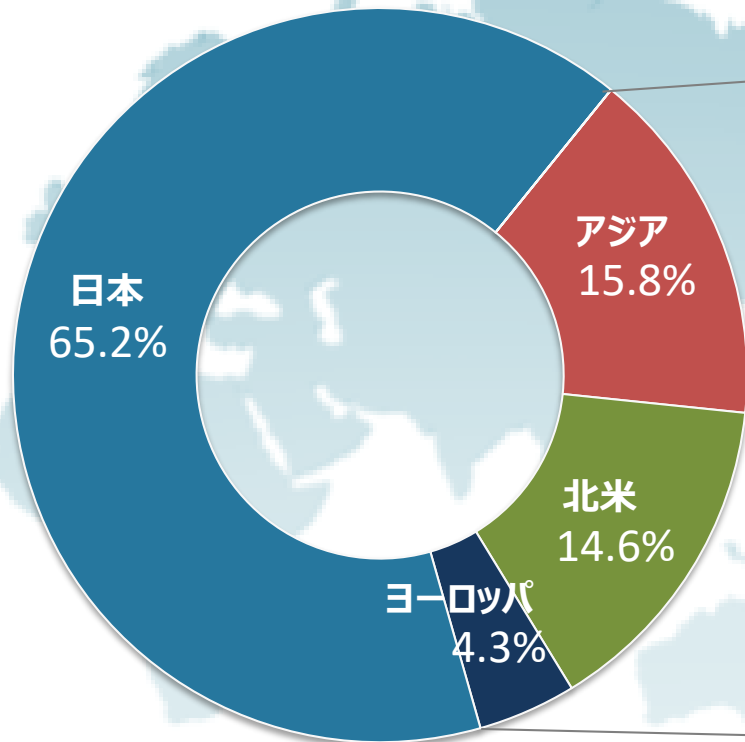
- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- TPMP (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、多くのユーザが集まる地域での営業拠点の開設
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立

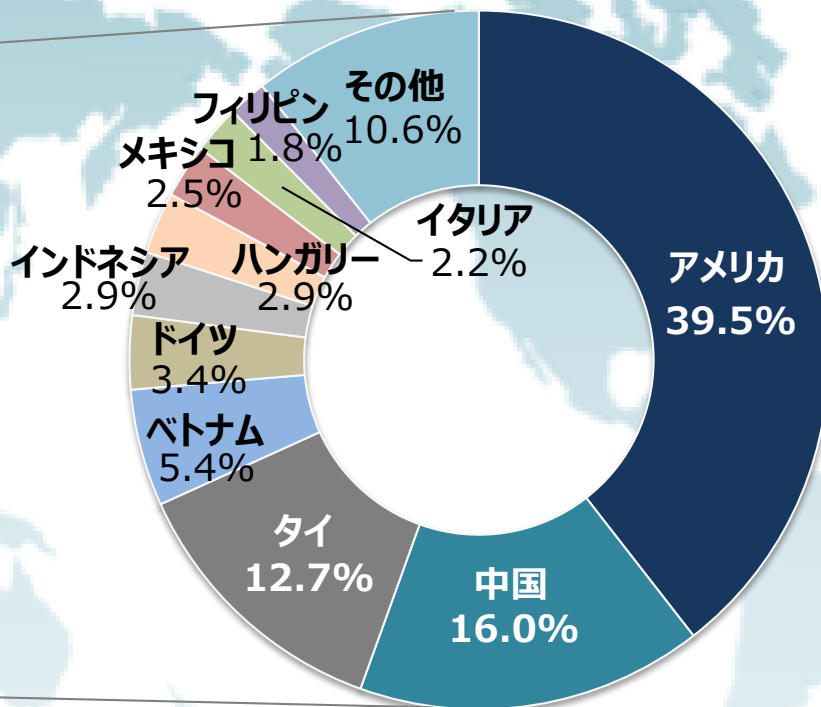
スピーディなサービス・メンテナンスの提供

グローバル展開

地域別連結売上高



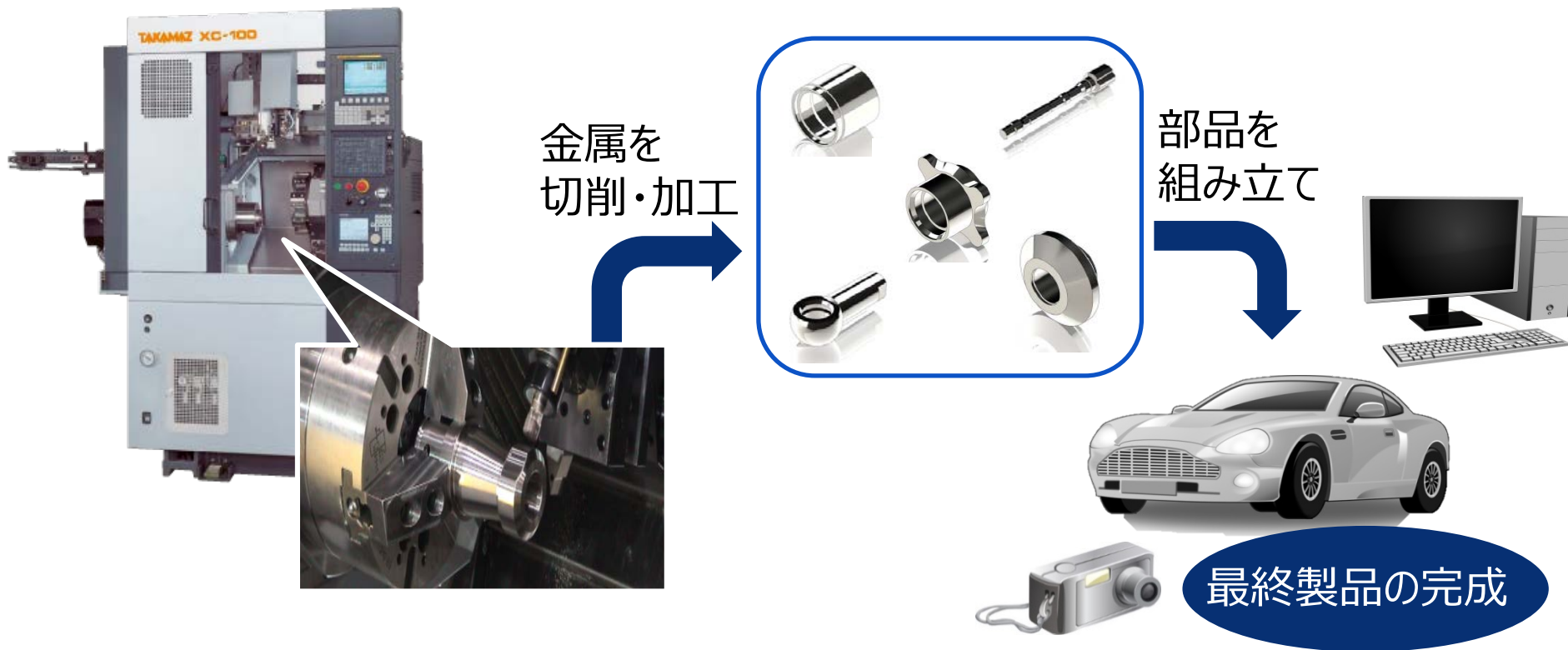
海外国別連結売上高



- 6割以上が日本国内向け
- 海外売上はアメリカ・中国・タイで3分の2以上を占める
- 今後、需要の伸びしろが大きい海外を強化

※売上高は2022年度の数値です。

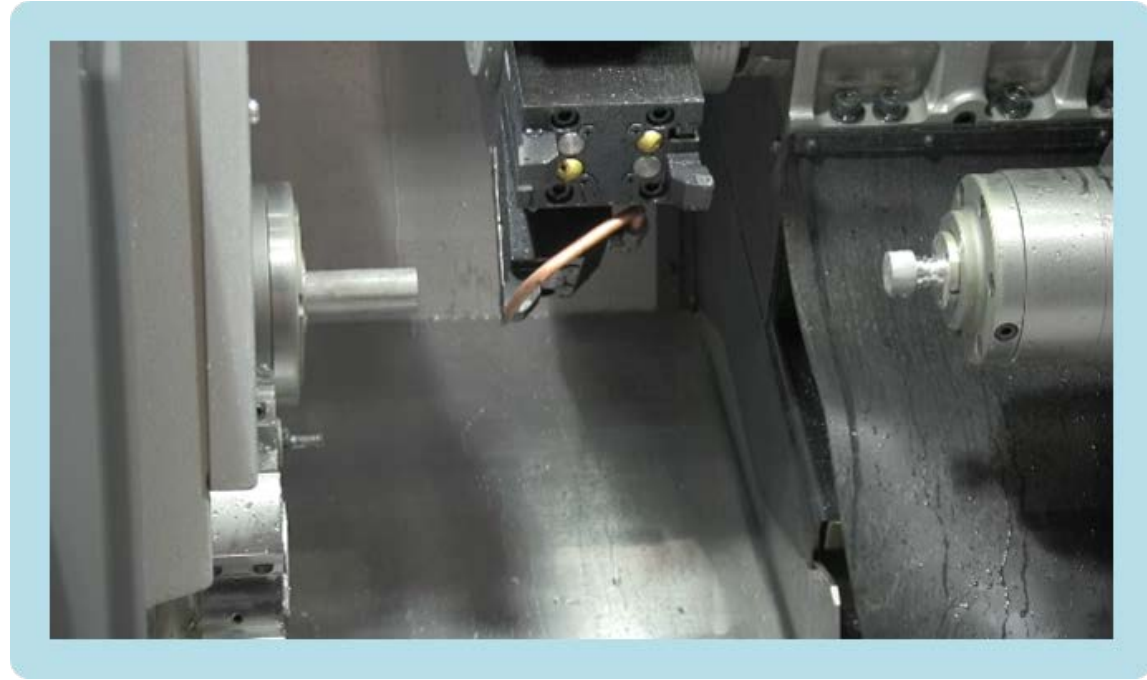
■ 工作機械とは



工作機械とは？

金属を所定の形や大きさに加工し、様々な製品の部品を作る機械。工作機械そのものも工作機械によって作られているため、工作機械は、「機械を作る機械」、あるいは「マザーマシン」と言われている。

CNC旋盤とは



CNC旋盤とは？

旋盤とは、加工物を回転させ、刃物で切削加工を行う工作機械の一種。

CNC旋盤は、旋盤の中でも、部品加工をコンピュータによって制御し、自動で加工する仕組みを搭載している機械のこと。

当社製品による加工例

当社製品による加工例

✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工

自動車関係 (EV含む) (例)



ギヤ関係部品



足回り関係部品

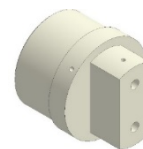


モータ関係部品

その他 (例)



エレベータードア部品



照明機器用部品



シャワー用部品

加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 建材・設備機器
- 医療機器
- 家電製品

**主力受注先の自動車関係以外の分野の
新規開拓にも注力**



競合状況

主な競合他社

オークマ、TAKISAWA、村田機械、FUJI 等

業界に占めるシェア

売上 ※2022年度実績

工作機械業界全体

シェア**1.1**%

業界…1兆1,665億円
当社…127億円

旋盤のみ

シェア**2.3**%

業界…5,543億円
当社…127億円

(参考) 生産台数 ※2022年暦年実績

工作機械業界全体

シェア**1.7**%

業界…70,004台
当社…1,168台

旋盤のみ

シェア**5.1**%

業界…23,006台
当社…1,168台

2

当社の強み



■ 高い技術力でお客様のニーズに対応

お客様を取り巻く環境

- ✓ 人手不足
- ✓ 人件費高騰
- ✓ カーボンニュートラル
- ✓ S D G s
- ✓ 次世代自動車の開発
- ✓ D X、I o T

現代のニーズに応える
工作機械製品が求められる

TAKAMAZ の強み

人手不足や人件費高騰に対応できる
自在なカスタマイズ性に優れた

① 自動化技術

E V 化等の新しいお客様のニーズに応える

② 製品開発力

カーボンニュートラル・S D G s 達成に寄与する

③ 省エネ・省スペース製品

**高い技術力で
お客様のあらゆるニーズに対応**

➡ ユーザからの **高いリピート率**

■ 強み① 自動化技術

● 豊富なノウハウと製品群

- 早くから自動化技術に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

● 設計～製造まで一貫した生産体制

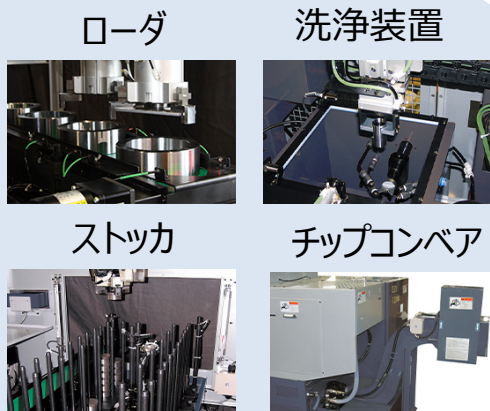
自動化装置・システムを自社で開発



当社CNC旋盤



自動化装置群



■ 強み① 自動化技術

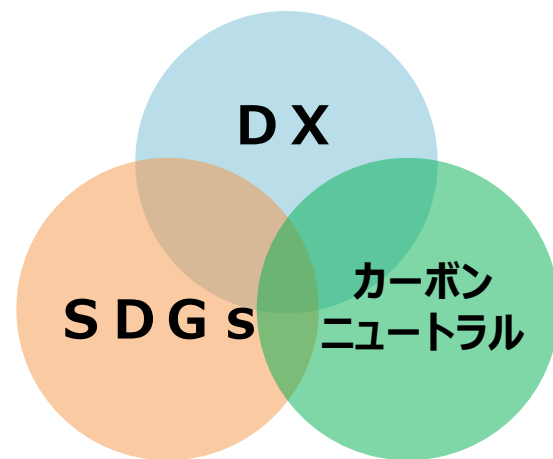
【当社製品で構築された自動生産ライン】



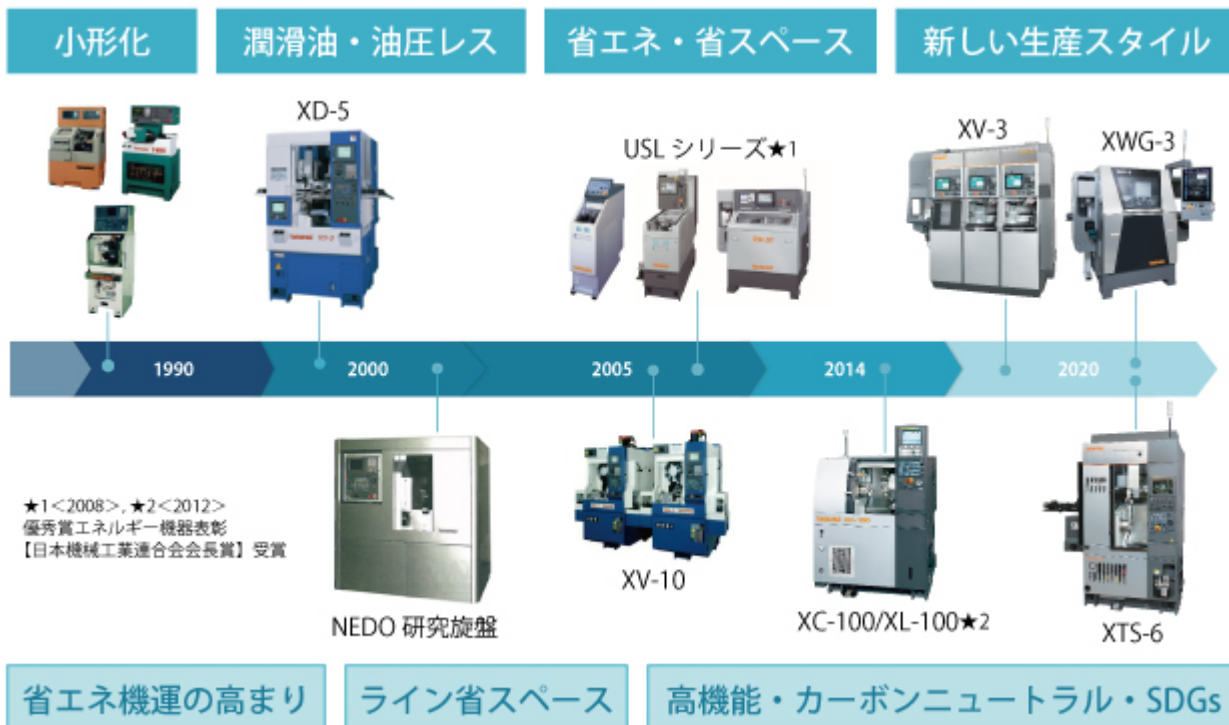
強み② 製品開発力

ユーザーニーズに応える製品開発

- ✓ 小型ながらも高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現
- ✓ 「DX」「SDGs」「カーボンニュートラル」の3つのキーワードをもとに製品を開発



環境に配慮した製品開発



★1<2008>、★2<2012>
優秀賞エネルギー機器表彰
【日本機械工業連合会会長賞】受賞

TAKAMAZは、1990年代から環境に配慮したCNC旋盤の開発に注力

■ 強み③ 省エネ・省スペース製品

カーボンニュートラル実現・SDGs達成に寄与する新製品

NEW XWG-3

カーボンニュートラルに貢献

- ✓ 排熱として放出していた電気エネルギーを装置の電源として再利用できる電源回生方式の採用により省エネ効果アップ
- ✓ 動作高速化 **+33%**（従来機比較）による時間短縮・省エネ効果



NEW XT6-6

業界最小のコンパクト性

- ✓ 従来機より更なる小型化を追求、業界クラス最小のフロアスペース達成
- ✓ 安定した加工精度により高い生産性を実現
- ✓ CO₂排出量年間 **245kg-CO₂削減**（従来機比較）



3

成長戦略



■ 今後の自動車業界

自動車業界の動向

● 自動車のEV化による新たな需要

脱炭素社会の実現に向け、EV（電気自動車）にシフトする動きが加速

→ 自動車業界の変遷期による需要拡大

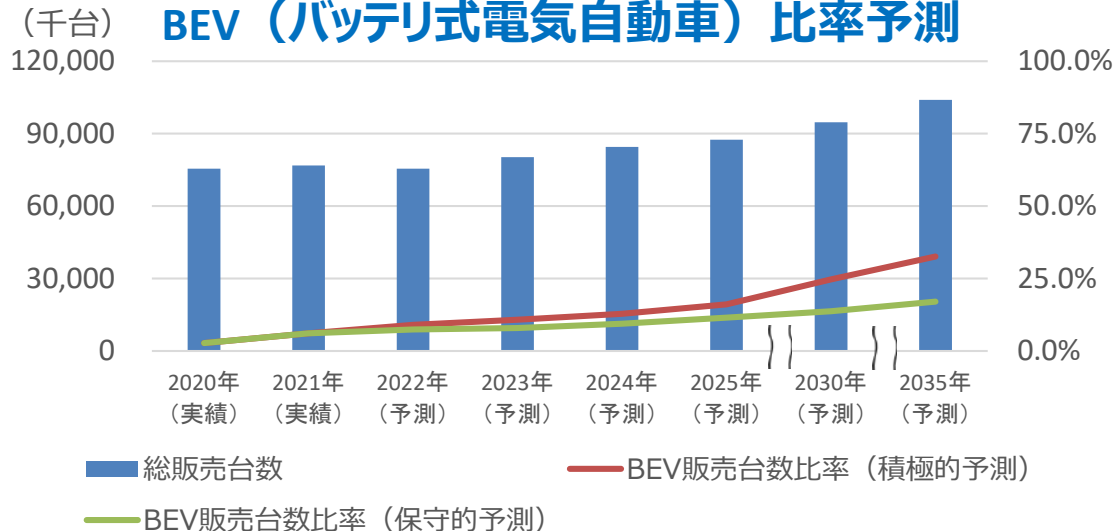
● 新興国で高い需要

中南米や東南アジアといった新興国の発展による自動車需要拡大

→ 現地での自動車生産増加による海外市場拡大

**自動車市場は
ダブル需要で
チャンス拡大！**

世界自動車販売台数予測と BEV（バッテリー式電気自動車）比率予測



(出所：矢野経済研究所より作成)

◀ **世界の自動車販売台数は
今後も増加見込み**

■ チェンジ・チャレンジ（中期計画2024）

【中期計画2024基本方針】

チェンジ！ チャレンジ！ 2024！
当たり前を「変える」、新しいことに「挑戦する」

【中期戦略】

加速する事業環境の変化への対応

工作機械事業の質的転換

収益構造の改善

経営基盤の強化

サステナビリティの実現

2024

2023

2022

★ 2年目のチェンジ！チャレンジ！★
“営業部門と生産部門の一体化による事業推進”

- ・ ハード・ソフト両面での生産能力強化
- ・ 自動化・省人化ニーズの取り込み
- ・ 新事業への挑戦

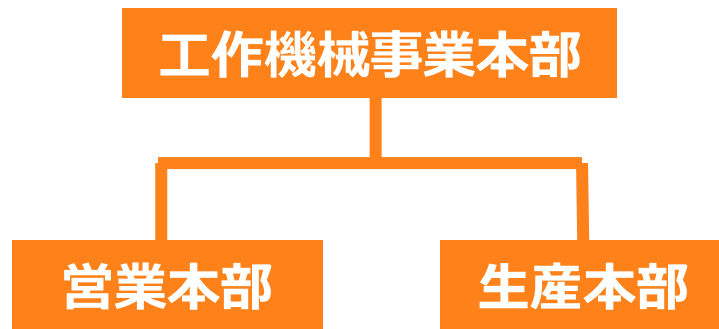
★ 1年目のチェンジ！チャレンジ！★
“アフターコロナを見据えた事業基盤の確立”

- ・ あさひ工場の稼働、本社工場の設備導入、生産レイアウト見直し
- ・ カーボンニュートラル製品の開発、新事業への参入
- ・ 働きやすく、働きがいのある職場づくりと人材育成

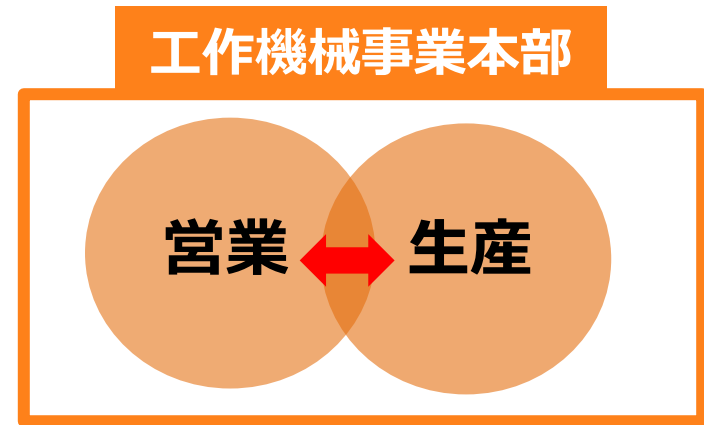
■ 中期計画 2024 2年目の成長戦略

【営業部門と生産部門の一体化】

《2022年度》



《2023年度～》



- 2023年度より、工作機械事業における「営業本部」「生産本部」の区分を廃止
- 営業部門と生産部門を一体化し、工作機械事業本部直轄の6部門体制とする

- ✓ スピーディかつベストな意思決定を実現
- ✓ 顧客ニーズにも柔軟かつタイムリーに対応
- ✓ 一体化によるコスト削減と更なる作業効率化を追求

■ 中期計画 2024 2年目の成長戦略

【全社最適を意識した生産能力強化】

ハード面

生産能力強化のため、
マシニングセンタ等の導入を予定



ソフト面

製品知識教育・ITスキル教育等、
社員教育の更なる強化



【自動化・省人化提案の更なる促進】

● 自動化・省人化・省段取り・省エネ等を付加価値とした製品の提案・販売促進

- ユーザとの交流深化によりニーズに応える提案の実施
- 自動車関係以外の新市場向けに自動化提案強化
- 自動化システム「Servo Rot」の販売促進活動の拡張



「Servo Rot」

【資源ゴミAI自動選別機の開発】

リサイクル施設の課題

- ✓ カーボンニュートラル・SDGs等への注目
 - ✓ 手作業でのゴミの選別が主流
- 特にビンのリサイクルには色識別が必要で機械選別はハードルが高く、ビンの色ごとに手作業での選別が必要
- ✓ 人手を確保するのに苦戦



課題を解決に導く

資源ゴミAI自動選別機 の開発

ビンの特徴を認識したのち、ロボットを利用した自動化システムが認識したビンピックアップ！



資源ゴミAI自動選別機の使用により

- ✓ リサイクル業界の人手不足を解消
- ✓ ビンのリサイクルを推進し、SDGs達成に貢献



高松機械公式YouTubeにて「資源ゴミAI自動選別機」の紹介動画を掲載しています。ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=lUnsB-Q2se8>

サステナビリティの取り組み

TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。

分類	マテリアリティ
環境 E	モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します
社会 S	モノづくりを通じて社会に貢献します
ガバナンス G	社員と会社の持続的な成長を目指します 経営基盤をさらに強化します



サステナビリティの実現

TOPICS

● カーポート型太陽光発電設備の導入（8月運用開始）

環境負荷低減への取り組み



- ✓ CO2排出量14%削減
- ✓ 駐車場（カーポート型）と屋根の一部に設置
- ✓ PPA（第3者所有モデル）を採用

● パラリンアートの採用（6月）

豊かな社会の実現に向けた取り組み



- ✓ 「パラリンアート」…障がい者アーティストの社会参加と経済的自立への支援を行う活動
- ✓ 当社株主通信表紙にて、KOTOさんの「夏」という作品を株主通信に掲載
(KOTOさん：当社所在地 石川県出身のアーティスト)

Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

当社HP内サステナビリティページのご紹介 <https://www.takamaz.co.jp/sustainability/>

当社のサステナビリティの取り組み、サステナビリティレポート等を掲載しています。ぜひご覧ください！



サステナビリティページトップ



活動報告



サステナビリティレポート



4

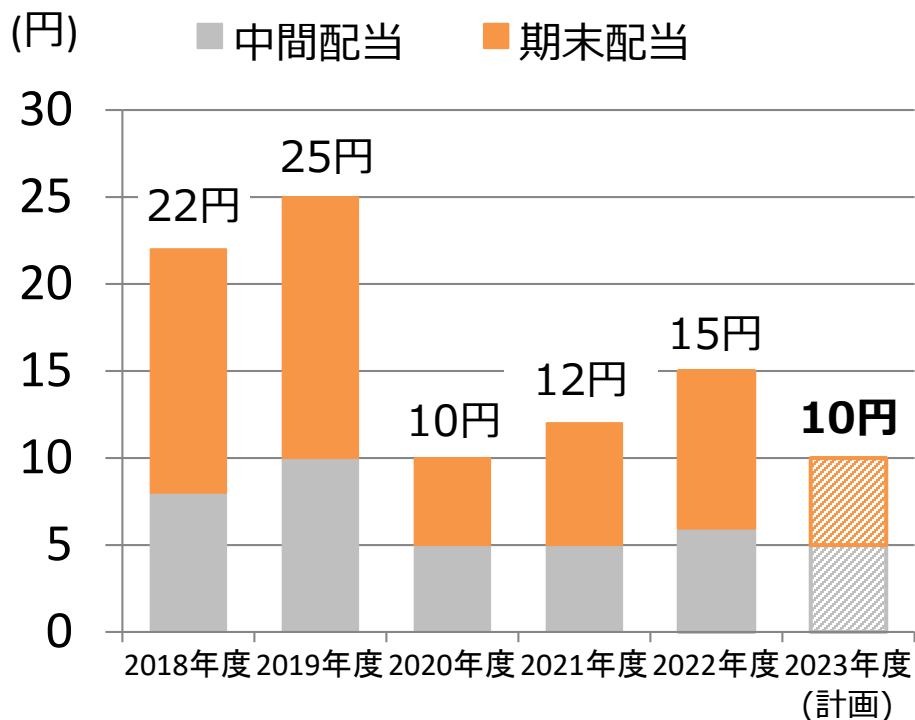
株主還元



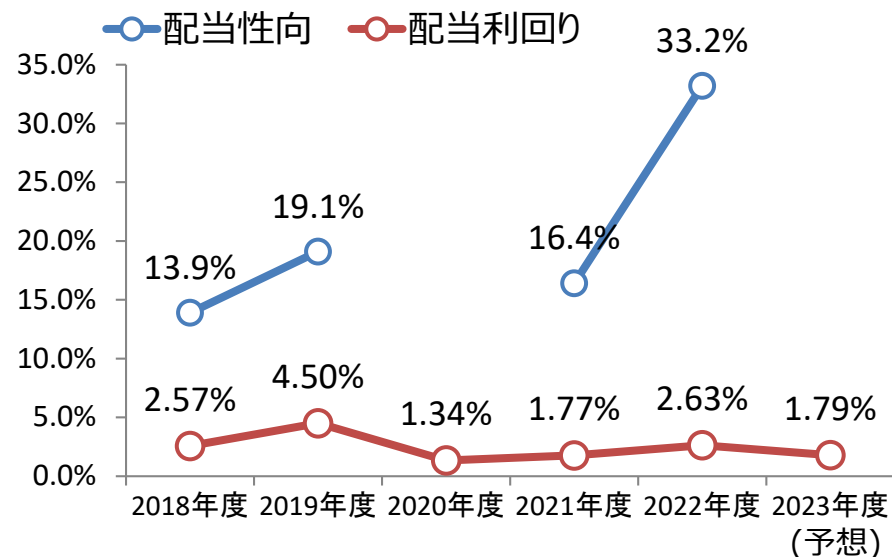
株主還元

- ◆株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持
- ◆将来の利益の成長及び企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行う
- ◆自己株式取得は、総還元性向等を総合的に勘案した上で実施

配当金



配当性向、配当利回り



注1) 2020年度及び2023年度の配当性向は、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

注2) 配当利回りは各年度末(2023年度は7月31日)の株価を使って計算しております。

(参考資料)

(参考) 2023年度計画

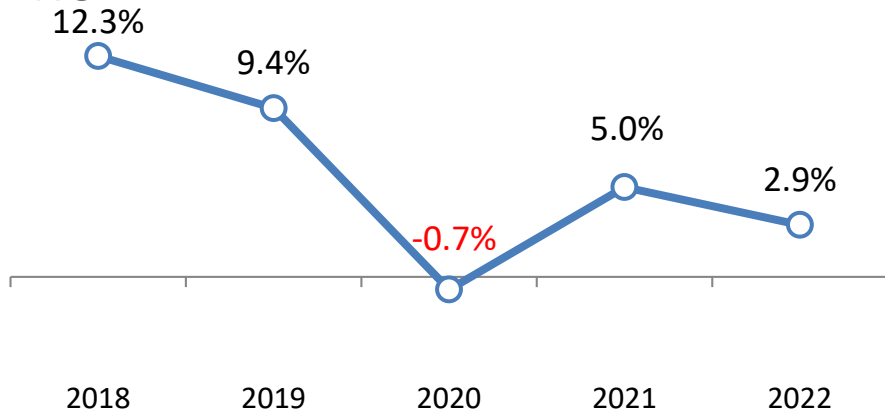
(単位：百万円)

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度修正予想	
			見込み	前期比
売上高	16,720	16,675	15,365	△7.9%
営業利益	1,093	516	△313	—
営業利益率	6.5%	3.1%	△2.0%	—
経常利益	1,180	619	△310	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	795	489	△290	—
1株当たり当期純利益（円）	73.03	45.21	△26.84	—

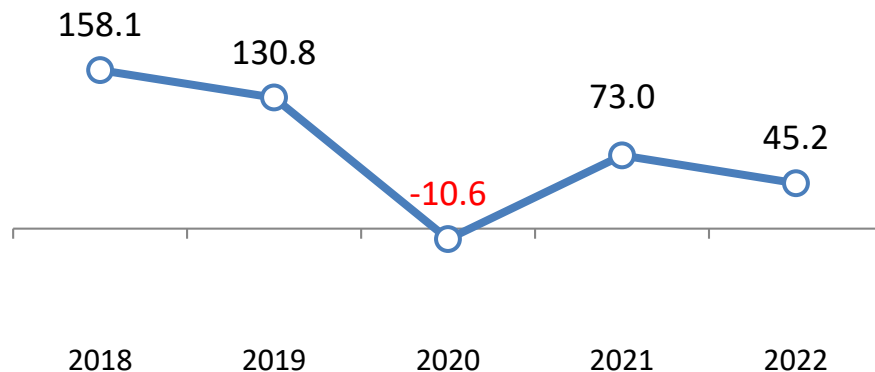
- ✓ 当社の主要顧客である自動車業界向けの工作機械需要が徐々に回復することを予想していたものの、足元では依然として調整局面
- ✓ 新規案件の増加による工数増加が生産に影響を及ぼし、通期業績予想を修正

(参考) 各種指標

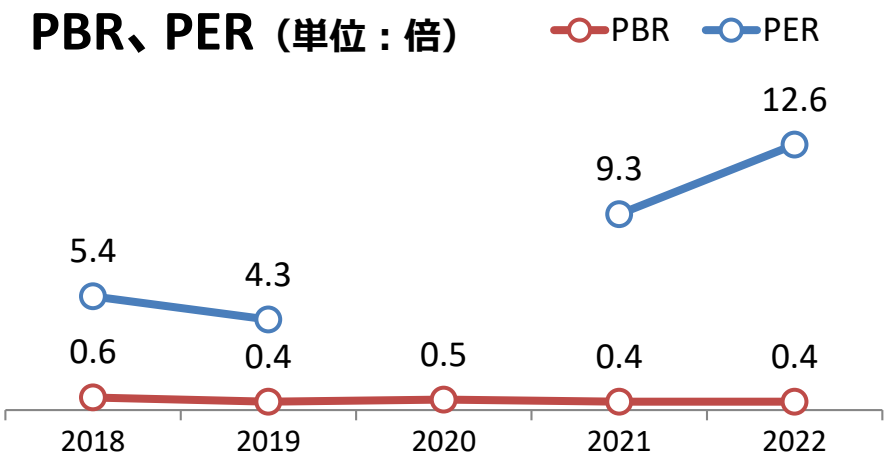
ROE



1株当たり当期純利益金額 (単位:円)

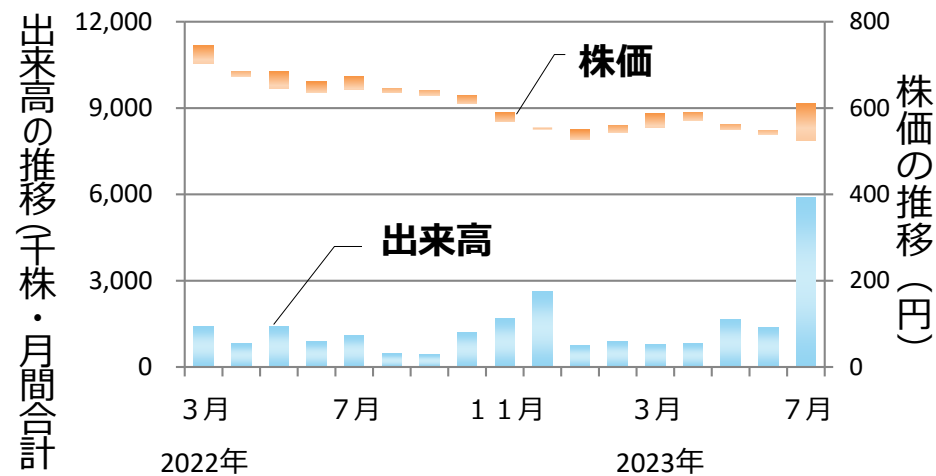


PBR、PER (単位:倍)



※ 2020年度のPERは、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

株価、出来高



投資家・株主の皆様への情報発信

HP

TAKAMAZ

検索



<https://www.takamaz.co.jp/>

● トップページ



● 株主・投資家情報ページ



刊行物



株主通信

決算説明会資料



サステナビリティ レポート

ORANGE NEWS



SNS



TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

